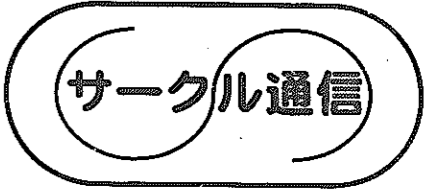


広報しろね

S·h·i·r·o·n·e

2000.2.15
No.563



若い人たちからも将棋の楽しさを

日本将棋連盟白根支部「白竜会」



昭和四十八年一月に市内外からの将棋愛好者が集まって発足。現在、会員は二十四人。毎月第三日曜日の午後一時から、白根健生病院隣の会場を借りて活動しています。

「将棋の魅力は、変化に富んでいて考えれば考えるほど奥深いところ」と会員の皆さん。毎年、県の名人戦、竜王戦、王将戦などの大会に出場しています。昨年の十月には下越地区の親睦大会を白根で開催し、白竜会は三位に入賞しました。

会長の笹川紀夫さんは「将棋人口が減っています。もっと若い人たちから将棋の楽しさを知ってほしいと思います。現代の子どもたちには、ほかの遊びがいっぱいすぎるのでしょうか。初心者大歓迎なので、小・中学生からも来てほしいですね」と話しています。白竜会では、会員を随時募集しています。将棋に興味のある人は田中安広さん（魚町 372・2738）へ。

※資源保護のため再生紙を使用しています。※紙上の記事・写真の無断転用を禁じます。

ケロリ凧 (愛知県豊橋市)

なんともけつたいなネーミングの凧です。ゆーらゆーらと揺れながら、空中でダンスを演じます。鼻緒は中心の凧骨に、上下に二本。五十メートルもある長いものです。これを操作して、凧をコントロールします。

静岡から名古屋に至る東海地方は、古くから凧揚げが盛んで、凧の種類も多彩。「凧銀座」と呼ばれるほどの名所です。豊橋の凧の歴史も古く、二百年も前から揚げられていました。

長男が生まれると、跡継ぎができた祝いと、高く舞い上がって天下に名を上げることを祈って、凧が揚げられたのです。凧は近所の人が寄り合って作ったとのこと。ケロリは江戸時代の末

あなたも凧博士

文・田村和雄

(しろね大凧と歴史の館運営委員会委員長)



期に出現したといわれます。横幅が五メートルの大凧も作られました。大きなケロリが、ぶーんとうなりの音を響かせながら揚がる姿は、豪快です。写真の絵は昨年他界された、豊橋の凧師・中島義治の描いた「義経」です。

＝交通事故の発生件数＝

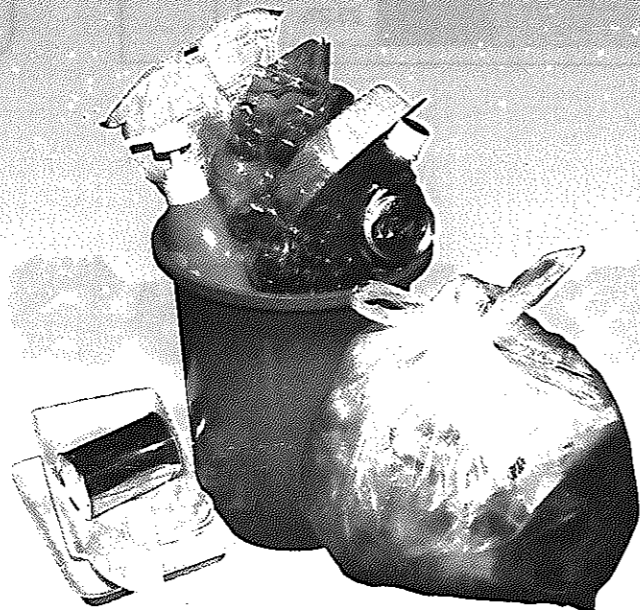
白根警察署管内	1月末現在	※ () は前年同期
発生件数	19件	(20件)
死者数	0人	(0人)
負傷者数	23人	(30人)

編集ルーム

◎こんこんと雪の降る寒い朝、新雪を踏みしめて歩いていると、サザンカの生け垣から鳥が飛び出してきました。羽が枝の氷雪を散らして、とてもきれいでした。◎翌日、ご飯を食べに入ったお店の入り口に、立派なおひな様とお内裏様が飾ってありました。◎ころはまだ、北西風激しい2月初旬。天気予報で外は2度。でも一瞬、気持ちだけ春になりました。(よ)

変わるごみ袋

変わる分別



市政クリップ(第一回市の花検討委員会ほか)
まちの話題(平成11年度白根市栄養教室閉講式ほか)
お知らせ

みんなのページ
イラスト倶楽部
サークル通信(白竜会)
あなたも凧博士(ケロリ凧)